

4月開講 卒後臨床研修<中医鍼灸>

多くの来院患者さんによって鍼灸臨床経験を積める！

中医鍼灸を基礎から臨床応用まで学べる研修です！

卒業生から「鍼灸での臨床がまだまだ不安」「就職先がマッサージ中心の治療で鍼灸から遠ざかってしまった」といった声が学校によく寄せられています。東京衛生学園専門学校はこの要望に応えるため、卒後臨床研修を実施しています。

開設から四半世紀を超える学園附属の臨床施設は、鍼灸希望の患者さんが多く、臨床経験を数多く積むことができます。また本研修は中医学をベースとした臨床経験豊富な指導者のもと、実際の臨床を通して中医鍼灸を学ぶことができます。鍼灸実践の上で基礎知識のベースは不可欠となりますが、本研修では基礎から臨床応用までの一貫とした中医鍼灸ができる臨床家を育成します。

【参加条件】

東京衛生学園専門学校卒業生

【募集人数・場所】

月曜・水曜・土曜の1日で前半または後半4時間各4名限定（定員に達し次第×切）

附属はりきゅうマッサージ治療室（富士ビル3階）

【期間】

2023年4月～2024年3月までの計38回（別紙参照）

【研修費】

24万円（最大4分割可能）

★こんな人におすすめです!!

- ・ 四診の情報をもとに、患者さんの状態をしっかり把握し治療をしたい人
- ・ 代表的な疾患に対し、病因病機を踏まえた弁証論治ができるようになりたい人
- ・ さまざまな鍼法・灸法の技術を臨床実践から身につけたい人
- ・ 中国文献等を通じて中医学への理解を深め、応用力を養いたい人
- ・ 鍼灸師として保健医療福祉の分野で、地域連携をはかりたいと考えている人

【今年度の研修参加している先輩の声】

Aさん

私にとって最も大きなメリットは「ゆっくり患者さんと向き合うことができること」でした。卒後すぐ鍼灸で1時間の持ち時間を頂ける職場は他ではあまり見かけません。流れ作業のように患者さんを診ずにすみ、患者さんと対話して関係性を築く事が出来ます。また、対話ができるがゆえに出てくる相手の質問に対して些細なことでも必ず応えられるようにすると信頼を得ることができ、対応力もあげることが出来たと感じています。

患者を診るのが不安だという方は、卒後研修で雛鳥から立派な成鳥となる足がかりを築かれることをお勧めします。

特典その1 東京衛生学園専門学校開催の「臨床実技セミナー」への参加費免除

4月：リスク管理
6月：認知症サポーター養成講座、トランスファーテクニック
8月：吸角、刺絡療法の実際
10月：薬膳の実際
12月：朱氏頭皮鍼
3月：中国鍼の実際
(天津中医薬大学附属病院で用いられる認知症への三焦鍼法を主として)
※講義内容は変更することもあります

特典その2 「兵頭明先生による認知症治療（三焦鍼法）の見学」

金曜日、舞浜倶楽部新浦安フォーラムでは、認知症当事者へ三焦鍼法が実践されています。中医学臨床教育支援センター兵頭明センター長の三焦鍼法を継続して見学が可能です。

特典その3 「図書室」を継続して利用可能

学生中と同じ条件で図書室を利用可能です。
(卒業生の図書室利用は閲覧のみで、貸し出しはできません)



渡辺明春室長略歴

私、渡辺が
しっかりサポートさせていただきます！
ぜひ一緒に学びましょう!!

1986年に鍼灸師免許取得後、中国中医研究院の老中医に師事し、北京中医学院外国人針灸進修班のメンバーとして派遣される。その後は天津中医学院にも派遣され「醒腦開竅法」考案者の石学敏先生に師事する。帰国後に衛生学園中国室に入職し、東海大学大磯病院東洋医学科へ出向。学校と病院で中医鍼灸の教育と臨床を担う。近年は本校の臨床教育専攻科において、中医鍼灸による臨床実習指導を担当。現在、附属はりきゅうマッサージ治療室室長。中医鍼灸の教育と臨床歴30年以上のエキスパートである。

中国語による「通訳案内士」(国家資格)も取得しており、中医鍼灸関連の共訳書として、『針灸学』四部作、『脳血管障害の針灸治療』、『針灸補瀉手技』、『詳解中医基礎理論』、『中医基本用語辞典』(すべて東洋学術出版社)がある。

他にリハビリ分野での通訳もし、介護福祉士免許、介護支援専門員も取得していることから、鍼灸師の立場からケアマネジャーとしても地域で活動を続けている。

ご質問・申し込みは富士ビル3階はりきゅうマッサージ治療室の渡辺まで

ぜひ見学(月水土)にお越しになってみてはいかがでしょうか？
先輩が、臨床している姿から学ぶものがあると思います！